

2015年5月16日(土)17日(日)開催



2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 エイジ(一般)の部エントリースタート 12月5日(金)正午~

世界最高峰のレース『2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会』を、2015 年(平成 27 年)5月16日(土)・17日(日)に山下公園周辺特設会場で開催します。

5月16日(土)は、五輪メダリストを含む世界のトップアスリートによるエリート部の部、2016年リオデジャネイロパラリンピックから正式競技となるパラトライアスロンの部を開催します。

5月17日(日)は、国内外約1,500名が参加するエイジ(一般)の部を開催します。
つきましては、エイジ(一般)の部のエントリーを12月5日(金)正午から開始します。



2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会エイジの部申込方法

- (1) 募集期間：平成 26 年 12 月 5 日(金) 正午~平成 27 年 1 月 5 日(月) 23 時 59 分
- (2) 募集カテゴリー **(定員を超えた場合は抽選)**

カテゴリー	人数	参加費
エイジの部① スタンダードディスタンス 計 51.5km (スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km)	800 名	25,000 円 25,200 円【環境寄附あり】
エイジの部② スプリントディスタンス 計 25.75km (スイム 0.75km、バイク 20km、ラン 5 km)	250 名	17,000 円 17,200 円【環境寄附あり】
エイジパラの部 計 25.75km (スイム 0.75km、バイク 20km、ラン 5km)	40 名	17,000 円 17,200 円【環境寄附あり】
リレーの部 スタンダードディスタンス ※ 計 51.5km (スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km)	50 組/ (150 名)	40,000 円 40,200 円【環境寄附あり】

※環境寄附については、裏面参照。

- (3) 申込方法：大会ホームページからお申込み <http://www.yokohamatriathlon.jp/wts/>
- (4) 問合せ先：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会事務局 TEL 045-680-5538

2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会概要

- (1) 大会名称：2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会
- (2) 主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会
- (3) 開催日程：平成 27 年 5 月 16 日(土) エリートパラ、エリート男女
17 日(日) エイジ(一般)の部
- (4) 会場：山下公園トライアスロン特設会場



※裏面に続きます

トップアスリートによるトライアスロンセミナー開催！

2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会のエイジの部の参加者を対象に、トライアスロンセミナーを開催します。

トライアスロン大会に出場するうえでのルールや心構えなどを講義形式でレクチャーするとともに、トップアスリートによる、スイムやランの実技指導を行います。併せて、子ども向けのキッズトライアスロン教室も同時開催します。

- (1) 名称：トライアスロンセミナー＆キッズトライアスロン教室
- (2) 主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会
- (3) 開催日程：平成 27 年 2 月 7 日（土）
- (4) 会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス
- (5) 備考：申込方法は個別に連絡します。



過去のセミナー・教室の様子

自然にやさしいトライアスロン大会を・・・横浜ブルーカーボン事業への取り組み

世界トライアスロンシリーズ横浜大会は、「自然にやさしいトライアスロン大会」を目指した競技大会を実施しています。今大会は、横浜市との協働による地球温暖化対策「横浜ブルーカーボン事業」の社会実験にチャレンジします。

参加者の会場までの移動により生じる CO2 排出量を金額に換算し、寄附金などでオフセット（埋め合わせ）する取り組みです。集まった寄附金でブルーカーボンクレジット（仮称）を購入し、海の森の育成・海の水質改善に繋がります。賛同いただける方は、環境寄附（カーボンオフセット費 200 円）にご協力をお願い致します。

『ブルーカーボン環境寄附とは？』

◇詳細はこちら⇒⇒⇒<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ygv/bluecarbon/offset/>

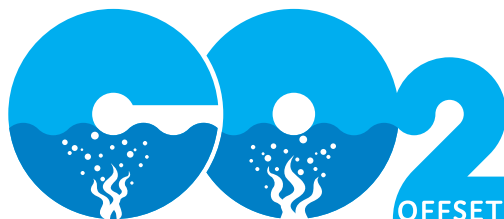
2014 世界トライアスロンシリーズ横浜大会エイジの部の様子



お問合せ先

市民局	スポーツ振興課長	飯田	能弘	TEL	0 4 5 - 6 7 1 - 3 2 3 7
(公財)	横浜市体育協会トライアスロン推進部長	金子	忠彦	TEL	0 4 5 - 6 8 0 - 5 5 3 8
温暖化対策統括本部	プロジェクト推進課長	吉田	雅彦	TEL	0 4 5 - 6 7 1 - 2 6 3 6 (横浜ブルーカーボン事業)

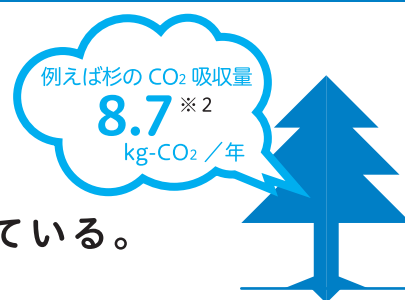
※質問等はトライアスロン推進部長までお願いします。



みんなで育てよう、地球を守る海の力。

自然をたのしむトライアスリートは、地球環境にやさしい。

① 事実、出場者の自宅から会場まで電車で行くと^{※1} **35.8kg**のCO₂を排出している。



② そこで、参加費に^{※3} **200円**プラスすると横浜の海に海藻を植えてCO₂を吸収するプロジェクト等を支援できる。



③ その結果、トライアスロンの競技フィールドである横浜の海や街が、**ずっとステキ**に。



早速、地球環境にやさしいトライアスリートなら環境寄付金付きのエントリーを選択しよう！



世界トライアスロンシリーズ横浜大会は、^{※4} 地球環境にやさしい大会を目指して横浜ブルーカーボン事業に協力しています。

※1 登録地から会場まで電車や飛行機をつかった場合の1人あたりのCO₂排出量を示しています。
なお、計算には昨年度の大会出場者(エリートを除く)1,451名の往復距離を使用しました。

※2 樹齢80年の杉の木、年間1本あたりのCO₂吸収量を示しています。

※3 200円で200本のワカメの苗を購入することができます。

※4 大会会場における電気等の使用に伴うCO₂排出量を推計し、この量のCO₂を吸収するプロジェクトに協力しています。

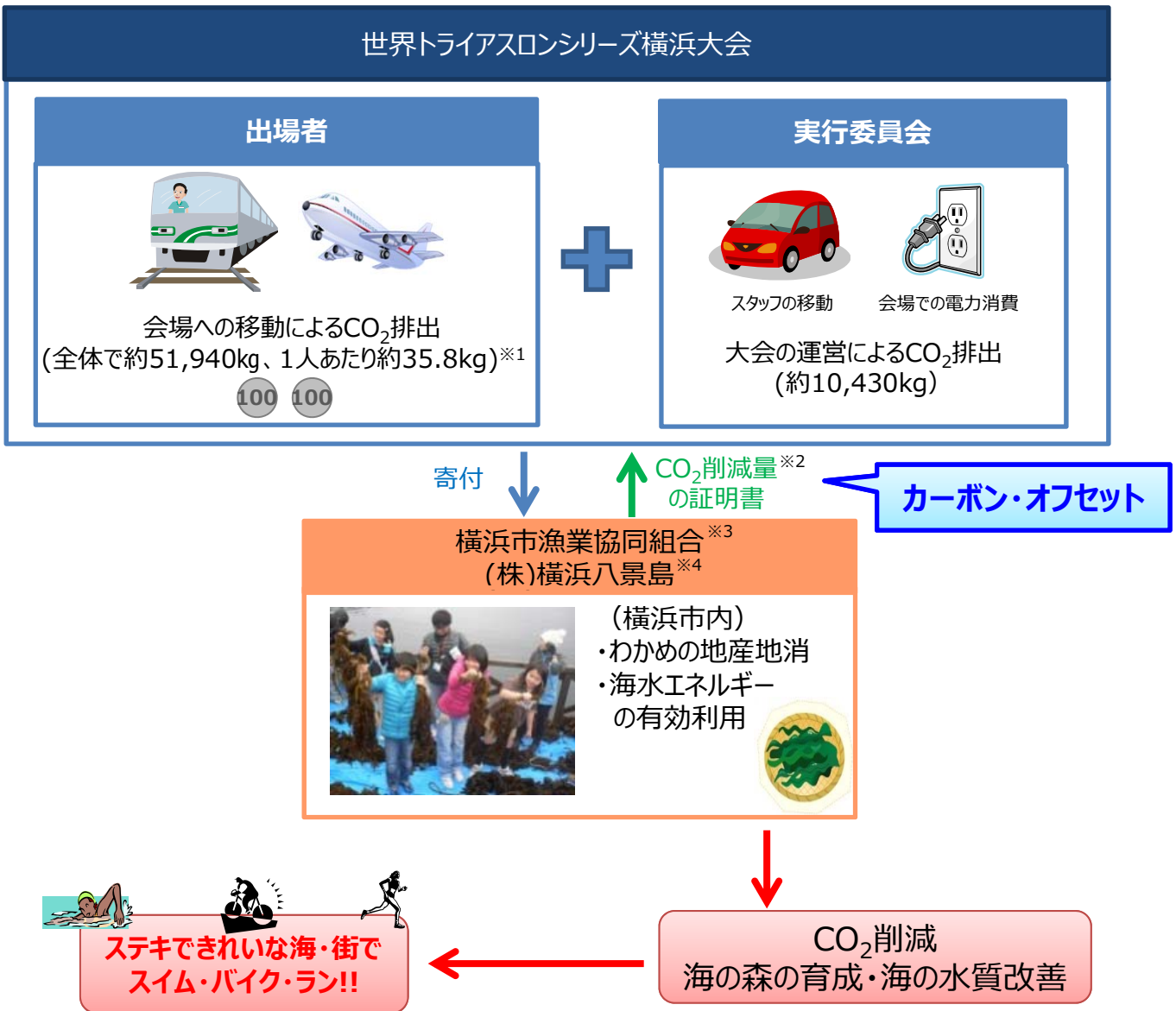


世界トライアスロンシリーズ横浜大会で、 エコトライアスリートになろう!!



トライアスリートの皆様に200円ずつを寄付いただくことで、
自らの会場までの移動によるCO₂排出量をオフセット(埋め合わせ)するとともに、
競技フィールドである横浜の海の環境改善を支援できます。

- ・200円は、平成26年大会の出場者のCO₂排出量が1人平均35.8kg^{※1}のため、6円/kg^{※2}として算出しています
- ・世界トライアスロンシリーズ横浜大会では、大会の開催を通じた環境改善に取り組みます
- ・本取組は、横浜市が取り組む「横浜ブルーカーボン事業」の社会実験として、実施します



※1 昨年度の大会出場者(エリートを除く) 1,451名が、登録地から会場まで電車や飛行機を利用した場合のCO₂排出量(1人当たりの往復分)の平均値。単位はkg-CO₂。
 ※2 大会開催に伴うCO₂排出量に対して、わかめの地産地消や海水エネルギーの有効利用によるCO₂削減量(10円/kg)で不足する分は、東日本大震災における被災地の沿岸域でのCO₂削減活動(4円/kg)に寄付する予定。
 ※3 横浜市漁業協同組合：わかめの地産地消(海中林再生・水質浄化)
 ※4 (株)横浜八景島：わかめの地産地消・海水ヒートポンプ(環境啓発・海の恵みの再確認)